

2021年3月23日

## ESG評価業務の強化に向けた新体制について

格付投資情報センター（R&I）は23日、企業、金融機関、地方自治体など発行体の調達する資金が環境（Environment）・社会（Social）・企業統治（Governance）の課題解決に役立つことを評価するESG／SDGsファイナンス評価の強化に向けて、「ESG推進室」を新設しました。これまで格付本部内にあったESG評価部を発展させて本部級の独立した組織にするとともに、人員を増強し、ESGファイナンスに関する評価体制を拡充します。ESGファイナンス市場の急速な成長と評価ニーズの高まりに対応すると同時に、ESGに関する新しい第三者評価や情報・知見の提供などのサービスも充実させ、企業など発行体のESG経営を総合的に推進・支援していきます。

気候変動対策や社会的課題に関する取り組みが広がり、国際資本市場協会（ICMA）の原則や国のガイドラインに適合したグリーン、ソーシャル、サステナビリティのボンド・ローンによる資金調達が活発になっています。2021年度には、温室効果ガス削減等の国際的枠組みとして2015年12月に採択された「パリ協定」で定められた2050年の脱炭素社会の実現に向けて、着実な低炭素化に取り組む多排出企業などへの資金供給を促す「トランジションファイナンス」が国内でも本格化します。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の2030年達成に向けて、国連開発計画（UNDP）が目標達成効果のある投資や事業を評価する基準を策定し、基準に適合した案件を認証する「SDGインパクト」の取り組みも年内にスタートする見通しです。

R&Iは1975年に初めて公社債への格付を開始した「公社債研究会」（日本経済新聞社の社内組織）を起源とする日本で最も歴史のある国内最大の信用格付会社です。ESGファイナンス評価では、2016年に日本の事業会社による初のグリーンボンドに「R&Iグリーンボンドアセスメント」を提供、さらに2019年には日本の事業会社による初のサステナビリティボンドに「セカンドオピニオン」を提供しており、第三者評価の先駆者としての役割を担ってきました。R&Iは今後も最も信頼される評価会社を目指してESGファイナンス評価と関連サービスを強化し、金融・資本市場の発展とESG経営の推進に貢献していきます。

## 【主な取り組み】

## ① ESG推進室の新設

ESGファイナンス市場の成長に対応するため、ESG推進室を新設。新年度から国内でも本格化するトランジションファイナンス、インパクトファイナンスなどの評価も積極的に提供していきます。

## ② 新しい第三者評価や情報・知見の提供

国連開発計画（UNDP）が策定する「SDGインパクト」の考え方に基づく第三者評価やESGに関する情報・知見の提供などのサービスを充実させ、企業などのESG経営を総合的に推進・支援します。

以上

本件に関するお問い合わせ先： ESG推進室 室長・小林茂 室次長・大石竜志  
TEL：03-6273-7694 Email：esg@r-i.co.jp

■お問合せ先： マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先： 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全および社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関または民間団体等が策定する当該資金調達に関する原則等との評価時点における適合性に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、適合以外の事柄につき意見を表明するものではなく、資金調達の目的となる成果の証明、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、セカンドオピニオンに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、セカンドオピニオンに関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。